

2018 年度本郷杯団体戦要項

禁止事項

・空きコートの使用 ・ポレーポレー ・身代わり出場 ・指定場所以外での喫煙および歩行喫煙 ・見苦しい応援、相手への誹謗中傷と思われる発言

・今大会の要項についての意見は、各サークル本郷杯委員を通してのみ受理する。要項に関する抗議などで試合の進行を遅らせるような行為は禁止する。

※ これらの禁止事項を行った場合、初回はチーム警告、2 回目は所属チームを DEF とする。また、不正が発覚した場合はその時点で失格とする。また、本郷連盟役員の指示に従わない場合も同様の措置をとる。

※ 応援者を含め、検見川の施設の使い方で罰則を受けた場合はその行為を行った者が所属するサークル を失格とする

・本郷連盟に加盟する同好会会員であり、現在大学生もしくは大学院生である者かつ 2018 年 4 月以降各大学の硬式テニスの部活動に所属したことの無い者

※これらの規定への違反があったサークルは 即失格とする

DEF 規定

・ 公共交通機関の不慮の事故で遅刻しそうな場合は、事前の連絡および遅延証明を持って運営本部に届け指示に従うこと。車などでの来場の際の事故、渋滞による遅刻は認められない。

・ オーダー発表の時にやむを得ない事情で選手がいない場合は許容するが、試合が始まってもない場合はその試合をデフォとする

コートマナー等

・ 選手、応援者ともにコート内での服装は上下ともにテニスウェアとし、靴は必ずテニスシューズを履くこと。これを 満たさない者はコートへの入場を認めない。

・ 応援者は原則としてポイント間にコートのライン内に入ってはならない ・試合中ラリーが続いている間は絶対にコートの後ろを通らないこと ・見苦しい応援は慎むこと。ラリー中の明らかな応援者の 発声はレフトとする

- ・ 5 分間のタイムアウトを取った時を除き、選手がマッサージなどの治療行為を受けることを禁止とする
- ・ ベンチの部分を含め、コート内での食事、喫煙は禁止とする
- ・ 施設に設置されたごみ箱を使用 してはならない

審判について

- ・ 審判は対戦サークル同士で話し合って選出すること
- ・ 審判のジャッジに関する抗議権は選手のみが有する
- ・ 選手、審判以外の者による試合に関する判定を禁じる

試合形式等

- ・ 試合形式は 6 ゲームズオール 12 ポイントタイブレイクの 1 セットマッチとする
- MD3 本、MS3 本、WD3 本 WS2 本の計 11 本のうち 6 本勝利した方を勝ちとする。
- MD3→WD3→MS3→WS2→MD2→WD2→MS2→WS1→MD1→WD1→MS1 の順に入れるが、状況により前後する場合もある。
- ・ 一戦目でないサークル同士の試合では勝利サークルが決まった時点で試合を打ち切ることがある。
- ・ 使用球は XT8 を用いる。試合が日をまたいだ場合新球を使用する
- ・ アップはその日初戦の人がいる場合のみ、アップ 5 分+サービス片サイド 4 本、それ以外の場合はサービス片サイド 4 本のみ とする。時間は主審が計る

時間について

- ・ ポイント間 10 秒、ゲーム間 30 秒、チェンジコート 40 秒として主審がタイムをとる。主審がタイム コールをかけたら 速やかに選手はプレーを開始すること。違反が繰り返される場合は警告および失格の対象となる。
- ・ 試合中怪我、もしくはトイレに行きたい場合に限り 5 分間のタイムアウトを一回のみ認める

その他

- ・ それ以外の規定については「コートの子」と役員判断に準じるものとする